

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）札幌林業土木協会

活動内容	春別ダムの管理道（林道）の環境整備
1 実施年月日 : 平成30年11月13日 2 実施場所 : 北海道新ひだか町 静内国有林 日高南部森林管理署管内 西の沢林道西の沢線 3 参加会員数 : 4企業及び事務局、日高南部森林管理署 延べ16人 4 活動内容 :	<p>日高南部森林管理署は、日高支庁南部の131千haの国有林を管理経営していますが、その中には日高電源一環開発計画に基づく多くのダムが設置されています。9月6日に発生した胆振東部地震では、その直後、全道ブラックアウトに陥りましたが、土砂流入等の被害を受けながら、その復旧電源は水力発電所が担いました。西の沢林道（一部併用協定）の沿線には、その一翼を担った高さ24mの春別ダムがあります。</p> <p>この林道は、ダム管理の関係者が点検業務のため毎日通行し、必要があれば重機や資材運搬車が通行する重要な道路で、一般の利用者にも開放されています。道路敷の外側は国有林ですが、降雪による枝の垂れ下がりにより、ダム管理の車輛通行に支障が出ると電力の安定供給に支障を来すため、森林管理署と当協会が相談し、降雪前に沿線の枝払いを実施することとしました。</p> <p>作業後には、通行する関係者から「見通しが良くなった」という感謝の言葉をいただきました。当協会は、地域のニーズに基づく社会貢献活動を行っていますが、林道の延長が長いため、来年も引き続きこの作業を実施する予定です。</p>

活動写真			
	 <p>作業前の日高南部署春山署長の御挨拶</p>	 <p>当協会の笹田ボランティア委員の挨拶</p>	
	 <p>ツルがらみの除去作業</p>	 <p>法面上部の枝の除去作業</p>	

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）札幌林業土木協会

活動内容	ポロト自然休養林のキャンプ場周辺の環境整備
1 実施年月日 : 平成30年11月15日 2 実施場所 : 北海道白老町 白老国有林 胆振東部森林管理署管内 ポロトキャンプ場 3 参加会員数 : 16企業及び事務局、胆振東部森林管理署 延べ26人 4 活動内容 : 胆振東部森林管理署は、苫小牧市周辺の63千haの国有林を管理経営していますが、中でもポロト湖周辺のポロト自然休養林（395ha）は、アイヌ文化伝承施設「白老ポロトコタン」と接している民俗的に重要な森林です。また、アイヌ文化発信拠点として2020年4月開設予定の「国立アイヌ民族博物館」「体験交流ホール」など複数の施設が「民族共生象徴空間」として整備されます。 これに隣接するキャンプ場周辺は国有林であり、キャンプ場利用者に森林散策を楽しめるよう歩道が網羅され、その一部は小川を横断しますが、川幅の広い箇所もあり、白老町役場から小川に踏み石設置を求める声がありました。また、キャンプ場に至る道路には多くカーブミラーが設置されていますが、破損等が見られるため、役場から森林管理署に対して改善の要請がありました。 そこで、森林管理署と当協会が相談し、森林管理署の御指導の下、小川への踏み石の設置とカーブミラー（資材は森林管理署提供）の交換を行いました。 当協会は、地域のニーズに応える社会貢献活動を行っていますが、当面、2020年に間に合うよう、残っているカーブミラーの交換等の整備を行う予定です。	
活動写真	
	
作業前の胆振東部署小向署長の御挨拶	当協会の五十嵐副会長から挨拶
	
小川に踏み石を設置	カーブミラーの交換